

世界遺産「日光の社寺」の大恩人

徳川家光公御尊像



三七〇年御遠忌

世界遺産登録二十周年記念

Special Exhibition : Statue of TOKUGAWA IEMITSU, Third Shogun

370年御遠忌
特別限定御朱印

2020.4.21 → 2021.3.31

三代将軍 徳川家光公靈廟

日光山 輪王寺 [大猷院]



〒321-1494 栃本県日光市山内2300 TEL:0288-53-1567(大猷院直通)



徳川三代将軍「家光」公は、260年におよぶ天下泰平の基礎を整え、尊崇する祖父「東照大権現」（徳川家康公）の霊廟「東照宮」を、寛永13年(1636)、現在の豪華絢爛たる姿に造り替えた名君です。

慶安4年（1651）4月20日の臨終に際しては、「死後も魂は日光山中に鎮まり東照公のお側近くに侍り仕えまつらん」と遺言し、48歳の若さで将軍職のまま江戸城で薨去されました。

家光公の御尊骸は江戸から4日間の道中を経て、自ら師と仰ぐ慈眼大師「天海」大僧正の墓所「慈眼堂」隣の大黒山に埋葬されました。四代将軍「家綱」公は、父、家光公の遺言にしたがい大黒山に霊廟の建築を着手、承応元年（1652）2月16日から翌年4月4日の僅か1年2ヶ月で完成したのが「大猷院」です。

大猷院境内に建ち並ぶ22件の国宝・重要文化財の建造物は、人工の極地ともいえる殿堂美が周りの自然と溶け込むようであり、東照宮のきらびやかさとは対照的に「幽玄」と「わび・さび」を表現するかのよう空間となっております。まさに日光山の秘奥といわれるゆえんです。

日光山輪王寺では、この度の「世界遺産登録20周年」と、令和2年に迎える「徳川家光公370年御遠忌」を記念して、大猷院の本殿「御宮殿」に奉安される、秘像「木造・徳川家光公坐像」を特別公開することといたしました。

このまたとない機会に、多くの皆様に御尊像をご参拝いただき、家光公のご遺徳を偲んでいただく縁としていただければ幸いです。

御開帳

家光公御尊像

家光公三七〇年御遠忌

世界遺産二十周年記念

公開場所

日光山 輪王寺[大猷院] 拜殿

住所：〒321-1494 栃木県日光市山内 2300

公開期間

2020年4月21日→2021年3月31日

【拝観時間】 □4月～10月[午前8時～午後5時]

□11月～3月[午後8時～午後4時]

※拝観受付は、いずれも閉門30分前で終了です



アクセス [輪王寺・大猷院]

拜殿内へのご参拝制限のお知らせ

5月17日, 7月14日, 7月15日

上記日程はお寺の「特別行事」がある為、大猷院拜殿内に入れない時間帯があります。なにとぞご容赦の程、お願い申し上げます。
なお、拜殿以外の箇所についての参拝は通常通りです。

拝観料

大人 550 円 / 小中学生 250 円

輪王寺券（三仏堂とのセット券）

大人
900 円

小中学生
400 円

※「大猷院拝観券」および「輪王寺券」とともに35名以上は1割引となります

